

はっぽう

議会だより

絶好の田植え日和（峰浜小学校5年生）



6月
定例会

- 6月定例会ダイジェスト 2ページ
- 議会臨時会 3ページ
- 一般質問 5ページ
議員が町政の状況や方針について質問！
- 議会全員協議会 11ページ
- 令和5年度予算付帯意見への回答 ... 14ページ
- シリーズ「起こす継ぐ」 16ページ
第5回「レンチナスえもり」
- 編集後記 16ページ

起こす 継ぐ

町の産業を担う 若手経営者たち

第5回

レンチナスえもり

えもり ゆきひろ
江守 幸広 さん

6月下旬、空調設備の更新のためにホダを撤去した椎茸ハウスにお邪魔して話を伺った。



東京出身の江守さんは、母親の実家がカッチキ台の梨農家で、長期の休みに遊びに来ていた子どもの頃から、「いい場所だ。いつかここで農業をやりたい」と夢を思い描いていたという。立川市でリサイクル方面のごみ収集の仕事をしていたが、2011年に転職が訪れる。東日本大震災で発生した食糧不足事態に、都市インフラの脆弱さを思い知らされた。震災による心境の変化、「八峰町なら子育てしやすいのではないか」という思い、農業への夢が重なり、翌12年当期に移住してきた。

町営住宅に住み、椎茸のホダ（菌床）製造の峰浜培養でアルバイトをして1年が過ぎた頃、上司に独立話を持ち掛けられ、会社で使っていたハウスを借りて13年に起業。最初は1人で仕事をこなしていたが、100日培養の完成ホダの仕入れが困難になり、50日培養したホダを買ってあと50日は自社のハウスで培養するようになった。自社で

培養を手掛けるには大規模化しなければならず、人を雇った。元々1人でやりたいと思っていた方向から少し離れてしまった。

そんな時に知り合ったのが、レンチナス奥羽の伊勢隼人さんだ。X JAPANのコピーバンド「X ISHIKAWA」のキーボード担当として声が掛かりバンドに加入。江守さんは石川の人たちの魅力に引き込まれていった。そしてホダを売ってくれた伊勢さんに江守さんは恩義を感じ、この人たちと一緒に仕事をしていきたいと思った。

ホダの仕入れ先確保と空調設備の更新を機に、従業員はレンチナス奥羽等で雇用してもらい、江守さん自身は1人で事業を続けることになった。原点回帰と言ってもいい。

「椎茸栽培は楽しく奥が深い。歴史好きなので椎茸の歴史にも興味がある」と江守さん。詳しい内容は割愛するが、きのこ菌の生命力は非常に強く、動物類ときこのは元をたどれば同じ先祖らしい。この取材以来私には椎茸が肉に見えて仕方がない。



八峰町の椎茸の魅力のアピールし、椎茸産業の歴史を引継ぎ発展させていきたいと熱く抱負を語る一方、灯油、電気など光熱費がかかる産業でもあり、CO2を削減できる機械やシステムの導入に対して町独自の支援があれば助かることも訴える。出来るだけの支援をしたいものだ。

（取材：奈良聡子）

● 議会広報編集委員会

委員	委員	委員長	委員
見上	伊藤	笠原	山本
政一	吉聡	優	人
子八	範	子	

編集後記は委員持ち回りの担当です。初期の議員時代に担当したことがありますが、紙原稿の読み合わせからタブレットでの対応になりました。さて、毎日の生活で、「もったいない、もったいない」と思っていることはありませんか。国連はSDGs（持続可能な開発目標）17項目を2030年までに目指すことを全会一致で採択しました。私たちにできることは自国の食材を使う、食品ロスを減らし食品廃棄物を半分にするとしています。我が町の耕作放棄地が見るにつけ、再生して作物が作れないものかと思うこの頃です。

（記 見上 政子）

編集
後記



6月 定例会 ダイジェスト

6月定例会は6月14日(水)から16日(金)までの3日間の日程で開催し、物品取得、工事請負契約、一般会計及び特別会計の補正予算等の5議案が上程されました。一般質問では、5人が登壇し、町政を質しました。



堀内町長、田村副町長、鈴木教育長の新体制による初の議会定例会

一般議案

●岩館地区防災コミュニティセンター建築工事の契約締結

▼株式会社日沼工務店能代本店と契約(金額1億2497万1000円)。

●議会から町へ(質疑)

質問 物価高騰等の影響で当初の想定より金額が高くなっているが、いつの時点での基準価格による契約か。

答弁 計画段階の想定は約7500万円だったが、その後木材を中心に価格が高騰した。また、避難施設としての基準による部材なども想定以上に多く、今回の金額となった。基準単価については令和4年12月時点のもの。

質問 今後、更に物価が高騰し、契約金額が増額する想定は。

答弁 市場での資材価格が日々変動し、上昇傾向にあることは認識している。工期(12月28日まで)の間で急激な価格上昇があった場合は、増額の変更契約もあり得ると想定している。コスト縮減等で、



岩館地区防災コミュニティセンターのイメージ図

なるべく増額とならない形で竣工したい。(全員賛成で原案可決)

一般会計補正予算

補正予算の主な内容

●価格高騰重点支援事業に3854万7千円

▼住民税非課税世帯1250世帯に1世帯あたり3万円を給付。

●農業生産費高騰対策支援事業に1812万7千円

▼稲作農家へ10aあたり千円、しいたけ農家に1坪あたり1826円を給付。

●漁業燃油価格高騰対策事業に891万5千円

▼船外機1隻あたり3万円、チャッパル船・底曳き船に令和4年度重油使用料に応じ燃油値上がり

分の2分の1相当額を給付。



はえ縄漁による日本海マグロ

●指定管理施設光熱費等高騰対策事業に206万2千円

▼電気料金高騰対策として、町の指定管理施設に対し令和4年度の使用電力に応じ値上がり

令和5年第1回(5月11日)

議会臨時会 ダイジェスト

●八峰町条例の一部を改正

▼現在、住民税に上乗せされている震災復興税が令和6年度に廃止となり、新たに森林環境税を賦課。

▼軽自動車税の種別割税率の特例期間延長。

●八峰町国民健康保険条例の一部を改正

▼国民健康保険税(国保保険料)の課税限度額2万円引き上げ。

▼保険税の軽減算定の基準額改正。

●八峰町介護保険条例の一部を改正

▼新型コロナウイルス感染症の影響による保険料の減免措置期間を改正。

●令和4年度一般会計補正予算(14号)

▼令和4年度の各種交付金等の確定に伴う歳入補正および、事業の確定に伴う負担金や事業費などの歳出減額。

議会から町へ(質疑)

質問 令和4年度の財政調整基金繰入額が3億9千万円となり、残額が28億5000万円とな

分の2分の1相当額を給付。

●プレミアム付き商品券発行事業に2250万円

▼購入額1万円で1万3千円分利用できる商品券を7000セット販売。

議会から町へ(質疑)

質問 農業生産費高騰対策の支援対象に野菜農家が入っていないのはなぜか。肥料や燃料代高騰の影響は同様である。

答弁 財源が限られていることもあり、今回は稲作としたいけを対象とした。その他の作物については今後検討する。

質問 国からの地方創生臨時交付金をプレミアム付き商品券に充当しているが、子育て世帯に

対する支援事業に活用できなかったか。

答弁 地方創生臨時交付金は、

国から低所得世帯支援枠と推奨事業メニュー枠で限度額がそれぞれ示されている。子育て世帯に対しては、別財源で児童手当



春キャバツの収穫

陳情

●庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するように求める陳情

(提出者 秋田県を明るくする会 笠原尚子)

▼総務民生常任委員会に付託し継続審査。

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

5人の議員が一般質問

一般質問

一般質問では5名の議員が町政について質問しました。

p 6 笠原 吉範 議員

- 1 人手不足対策について
- 2 空き家活用について

p 8 奈良 聡子 議員

- 1 交流・関係人口増加の取り組みと観光について

p 10 腰山 良悦 議員

- 1 町民の生活支援について
- 2 フォトコンテストの実施について

p 7 山本 優人 議員

- 1 漁業担い手、漁業振興について

p 9 見上 政子 議員

- 1 臨時交付金を活用して生活者支援を
- 2 乳幼児保育の充実
- 3 随意契約の要項の変更と随意契約の公開を

一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に沿って質問します。

質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしています。再質問からは、一問一答方式が採用されており、時間内であれば何度でも再質問ができます。

っている。持続可能な八峰町をつくっていくために、コンパクトな予算を組むことが重要。堀内新町長となり、新事業や町民の要望に応えたいこともあるだろうが、十分気を付けてもらいたい。

答弁 令和6年度予算編成の際は、各課に要求基準を課し、財政調整基金の適正な運用に努める。

●森林航空レーザ計測及び森林資源解析の業務委託

▼森林資源の実態の把握・管理のため、株式会社バスコ秋田支店と契約（6600万円）。航空レーザ測量と地上レーザスキャナによる三次元計測・森林資源解析を行う。

議会から町へ（質疑）

質問 今後、世代交代等で所有者の森林への関心は薄れていくと思われる。林地管理台帳システムを作っても、それを生かすには現場に精通した職員の育成が必要では。

答弁 現場に精通した人間が必要な一方、限られた職員の中で林業事務にのみ携わるのは難しい。幅広い事務に携わりながら、スペシャリストを作っていける形をつくりたい。

質問 対象地域と完了までの年数は。

答弁 町全体の森林が対象。令和5〜7年の3年で台帳を整備予定。この測定を行うことで、

所有の境界がある程度まで把握でき、材積（*）も求められる。これにより、例えば「Aさんの山の木がそろそろ切り頃ですよ」など町から提案し、それを森林組合と共有することで山の保全に努めていければと考えている。

質問 高齢等により山林を維持することが難しい人の中には、分取林（*）を返還したい人もいるのでは。喫緊の課題であるが、協議はされているか。

答弁 今回の森林環境譲与税を活用したレーザ計測は分取林は対象になっていない。今後、農林振興課内で検討が必要。（全員賛成で原案可決）

●体験センターで使用する小型バスの取得

▼太平興業株式会社能代営業所と契約（924万円）。

*【材積】立木・丸太・製材品の体積（実績）
*【分取林】契約により、土地所有者が提供した土地に、造林者が木を植えて育て、成長した木材を伐採・販売した時に得られた収益を、土地所有者と造林者で契約した割合で分け合う仕組み。

議員研修会を開催しました

7月7日、八峰町を会場に県北地区町村議会議員研修会が行われ、八峰町・藤里町・三種町・上小阿仁村・小坂町の町村議員46名が参加しました。コロナ禍により中止・縮小していたため、5町村が参加するのは4年ぶりとなりました。

八峰町観光協会・八峰町農林振興課による「八峰町の半農半X」の講演が行われ、参加議員からは様々な質問がありました。





笠原 吉範 議員

職員の副業と

外国人労働者受入は

町長 可能性を検討したい

笠原 少子高齢化に伴う人口減少により、人手不足が深刻な問題となっている。中でも基幹産業である農林漁業は深刻だ。

その対策として、町職員の副業解禁の考えは。役場は町で最も人数が多く若い職場である。

民間と比べると休日も多い。民間の仕事を経験することで、職員意識改革にもなる。現在10を超える自治体が、副業を許可している。

また、外国人労働者の受け入れも一つの対策だ。受け入れには、宿泊施設や言葉の問題・

受け入れ手続きなど多くのハードルがあり、高齢化が進んでいる農林漁業者には困難である。町が橋渡し役として、外国人労働者の受け入れを。

町長 人手不足の対策は、大変重要であると認識している。

職員の副業は、町の規則に基づき、家業における農業への従事等を許可している。山形県や弘前市では、スクランボやリングの収穫期に副業を認めている事例があり、町内のニーズや条件を調査し検討したい。



海光苑で介護に従事する海外からの職員

空き家対策で

民間活用を

町長 連携協定を含め

幅広く検討

笠原 空き家所有者は、「売りたい」「貸したい」「貸したくない」「何から手を付けていいのかわからない」「相続で困っている」

「片付けたいけど自分では難しい」など様々な悩みを持っている。

東京都港区にある「空き家活用株式会社」では、地方自治体との連携協定により空き家所

有者の相談を受け、空き家対策に取り組んでいる。民間企業との連携協定を結ぶ考えは。

町長 町では、解体する空き家に費用を補助する「安心安全なまちづくり推進事業」、空き家をリノベーションして移住者に貸し出す「定住促進用空き家活用住宅事業」を行っている。空き家の相談件数は多くなると予想され、連携協定を含め幅広く検討する。

意欲ある專業希望者に

漁業許可を

山本

町として漁場の有効利用と漁業の担い手を増やせるのが課題である。

己權益を守り新規許可に反対する既存漁業者の対応には問題があると言わざるを得ない。

そのため漁業者が減り続け、新規の許可漁業を認めない体制が町の漁業、漁協を衰退させてきた要因と考える。

漁協は漁業後継者不足にありながら、新規漁業許可を申請できない漁協の指導体制、自

県も町も漁業政策の推進、指導の立場から漁業許可を伴った專業漁業者の育成を指導する必要がある。

町長 過去3年間では組合員として8人加入しているが、許可を伴う專業漁業者がどうかまで把握はしていない。

町は漁業権の許可等に権限はないが、本町の基幹産業の一つである漁業の発展に向け、漁業者や関係機関等と協議しながら、新たな漁業者が参入しやすい環境づくりに取り組む。

山本

町には峰浜漁協(他2漁協も共有)と秋田県漁協との共有の共同漁業権の漁場があるが、空いているにも拘わらず峰浜地先漁場は有効利用されていない。

山本

近年の天候悪化で、出漁日数が減少し水揚額が減って経営が厳しい分を養殖漁業に切り組み、漁船漁業と二刀流を目指す経営体が出現した。

現養殖の拡大と新規養殖参入者による漁港

町長 年齢バランスのとれた漁業就業構造の確立を、漁業者あるいは漁協に説明することは可能と考える。

町長

峰浜地先漁場(※)の有効利用については、両漁協との協議の場を設けるよう進めたい。

町長

サーモン養殖を進めているほか、今後も引き続き県としっかりと連携しながら、新たな魚種、あるいは生産の拡大に対応していく。

※(地先漁場)海岸から沖合4kmまでの海域。



山本 優人 議員

山本 漁協の運営委員会が新規の漁業許可を拒むために、この10年間1人も專業漁業者が生まれてない。運営委員会で意欲のある若い人なら漁業の許可を与えるよう、指導できないか。



八森漁港のセリ



奈良 聡子 議員

観光インフラの整備は

町長 利便性の高い

移動手段提供を検討

奈良

地物海鮮丼の店や酒造

会社の実験的カフェ、旧湯つこらンドのサウナへのリノベーション計画など、ここ最近の町内若手経営者による新規業態への挑戦が目覚ましい。これらの観光資源は交流・関係人口増加の機会を提供し得るが、町内の宿泊施設

と移動手段の選択が少なく経済波及効果は限定的である。若者の意欲的な試みを支える観光インフラが現状では不十分だ。地元の日常を体験したい外国人観光客等には空き部屋を活用した民泊も人気がある。交流・関係人口への取り組みと、多様化する観

光ニーズへの対応は。既存観光資源を磨き上げ、地元の若者や民間事業者等が取り組む新規事業を支援しながら、魅力的な観光コンテンツの開発に努める。また夕映の館や漁火の館の営業を再開させ、多様化する宿泊ニーズに対応し、併せて多言語表記やWiFi環境の整備等の検討を進める。移動手段の確保については、デマンドタクシーを活用した周遊観光の可能性を含め、快適で利便性の高い移動手段の提供を検討する。加えて「御所の台エリア再構築構想」を実現させることで、多様化する観光ニーズに対応していく。

奈良

交流・関係人口の増加

と観光は密接に結びついている。別々に対策を立てるのではなく一体で議論すべき。



地物海鮮丼を提供する「どはち」

奈良

レンタサイクル事業をあきた白神体験センターで出来ないか。

あきた白神体験センター所長

今の話を中心として持ち帰ってスタッフで話し合いたい。

町長

色んな空き家の活用

仕方を研究しながら多様化する観光に対応できるような仕組みづくりをしていきたい。

空き家対策にもなり行政としてもメリットがあるはず。

民家の空き室等を宿泊の場所として提供できる民泊というシステムがあることを行政が周知し、民間の初期投資へ補助する。これは可能ではないか。副収入が得られるとなれば、空き家の実家を活用して民泊に挑戦したい人がいるかもしれない。

交付金は子育て世帯の生活支援に

町長 子育て支援は今回見送る

見上

臨時交付金には「物価高騰に伴う子育て世帯支援」も含まれる。プレミアム券の発行は、町民全体に恩恵が行き渡るか。学校給食費・高校生の通学定期券や送迎のガソリン代に支援を考えないか。

町長

稲作としい「たけ農家、漁業者への支援に加え、町内商店等への支援としてプレミアム付商品券発行を追加補正した。今回の事業費で交付限度額を超えたことから学校給食費の無料化や高校生の通学費の補助は見送る。



八森こども園のミルクタイム

町で哺乳瓶を、幼児は完全給食に

教育長 哺乳瓶は準備完全給食を検討

見上

働く保護者は登園準備に忙しいのに、哺乳瓶3本を持参している。衛生面を考えて哺乳瓶を町で用意できないか。また、幼児の給食は国が主食費を補助していないため保護者がご飯を持参している。町の財政で炊き立てのご飯の提供を。

教育長

保護者の育児負担

軽減と安全安心な保育環境を考慮すると哺乳瓶は園で準備し、3歳以上児には炊き立てのおいしいご飯を同じ器で同じものを食べてもらう完全給食を検討する。

随意契約を公開し 要項の改正を

町長 要項改正し結果を公表

見上

随意契約の要項には「契約行為は適時適正な運用に努めることが望ましい」とある。「望ましい」ではなく強い表現に改めないか。また、「特別な事情がある場合を除き、2社以上の業者からの見積もりにより予定価格を定め競争方式で行う」は、守られてきたか。

上からの見積もりにより予定価格を定めることを遵守しており、要項の「望ましい」はより強い表現に改める。「随意契約の結果の公表」は5月から、ホームページで公表する。会計年度任用職員、事務職員に対してはコンプライアンス研修のほか、マニュアルの作成を計画している。

*随意契約の説明は13ページに記載。



見上 政子 議員

議会全員協議会から

5月11日（木）と6月1日（木）に開催され、4件の報告を受けました。

用語説明 「全員協議会」

町が新しい条例や制度、重要な施策を定める時、議会（本会議）に提出する前に議員全員に事前説明し、意見を求めるときなどに開催されます。

町民に価格高騰支援を

町長 生活支援と 事業者支援に努める



腰山 良悦 議員

稲作農家への肥料価格高騰対策、しいたけ農家への電気料金高騰対策に加え、漁業者への燃油高騰価格対策などを計上している。実施計画として取りまとめ、国へ提出し、町民の生活支援と事業者支援に努める。

腰山 一般家庭には行わないのか。対する支援

町長 一般向けとしてはプレミアム商品券事業を実施するので、町民の方々に活用してほしい。

腰山 今年に入り食品等が軒並み高騰し、今月からは電気料金が大幅な値上げになり、ほとんどの住民が影響を受けている。国から今年度は通常の臨時交付金のほかに、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金

腰山

今年に入り食品等が軒並み高騰し、今月からは電気料金が大幅な値上げになり、ほとんどの住民が影響を受けている。国から今年度は通常の臨時交付金のほかに、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金

がある認識しているが、国にどのような実施計画を提出し、町民の生活支援を図るのか。

町長

今議会では住民税非課税世帯に3万円を支援する事業を計上しているほか、プレミアム付商品券発行事業補助金や



プレミアム30%商品券

フォトコンテストの 実施を

町長 開催に向け検討する

腰山 コロナ感染症も5類に移行し、旅行する人も以前に戻りつつある。これを機会に町を積極的に発信し、観光振興等を図るためにネット等の媒体を利用し、フォトコンテストを町主催でやってみようか。

町長 町では平成25年度に、白神山地世界遺産登録20周年記念事業として「八峰八景写真コンテスト」を実施し、応募作品をポスターやパンフレットに使用するなど観光振興に繋げてきた。また、



白神山地世界遺産登録20周年記念 八峰八景写真コンテスト最優秀賞写真

前の八森の様子を紹介し、好評だと聞いている。旅行者も増え、撮影のために町を訪れていた人々の流れも期待できると考えており、趣旨や活用のある方を関係機関と協議しながら、開催に向けた検討を進めていく。

【報告1】 サーモン養殖事業 について

町からの説明

秋田県が「特定漁港漁場整備事業計画書(案)」を告示・縦覧(公開)に供した。

●計画の目的
岩館地区は年間を通して風が強く、荒天により出漁が困難となり、漁獲量の減少・漁業収入の低下が喫緊の課題となっている。消波施設の整備により養殖に適した静穏域を創出し、養殖生産拠点を形成することで、気象に左右されない安定した収入の確保、水産物の安定供給を図る。

議員から町へ(質疑・意見)

質疑 町の漁業が発展する事業となればよいが、水深が浅いことや、養殖事業の経営等、問題はあると思う。45億円かけて消波堤を建設するが、本当に漁業者のためになるのか。

答 新しい事業なので不安であることは理解する。県の事業ではあるが、町としても成功に向けて協力したい。

質疑 砂の滞留が予想される。町では専門家への調査と漁業者への聞き取りを行い、調査する。

質疑 消波堤建設の前に漁協と漁港の機構改革を進めるべき。この10年で漁協組合員はほぼ半減しており、静穏域ができる10年後にはさらに減る。岩館と八森の漁港を統合することで、港にスペースができ、そこで養殖も可能。町長から、漁協側にも指導・助言をしてもらいたい。

答 まずは両漁港があるという前提のもとに事業を進めると認識している。漁業者の減少については引き続き注視しながら、漁協サイドとも意見交換を続けていきたい。

意見 養殖漁業者を作り、育てることで町の水産資源や売り上げが上がるれば、漁協も成り立ち、観光資源にもなるので、大いに進めてほしい。水深の浅さや高波の問題は、現在の水産土木の技術で克服できる。



種サーモン

【報告2】 御所の台エリア 再構築構想の状況

町からの説明

企画提案を依頼している国際航業株式会社の企画案・イメージ図を説明。

議員から町へ(質疑・意見)
質疑 直売所はあるのか。

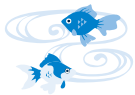
答 産直ふりここと八幡館の活用その他、飲食等の店舗でも販売は可能と考える。

質疑 海の駅(八森漁港)とあるが、観光市を整備する計画なのか。

答 整備の予定はない。

質疑 飲食ショップと宿泊施設は民間事業者を入れたいとのことだが、その打診を最優先で進めないと、この計画の実行は難しい。

答 八峰町のみならず秋田県・東北を代表するような観光地になりたいと考えている。この提案が最終形ではなく、色んな意見をもらいながらブラッシュアップ・肉付けしたい。町単独では限界があるので、民間の力をフル活用したい。



【質疑】 現在公表している入札結果に加え、随意契約（*）も公表し、誰でも見られるようにしてほしい。
 答 実施に向けて検討したい。

【質疑】 警察の処置を待たず、公務員の職務規程違反で処分は出来ないのか。本人が同意すれば出勤停止や自宅待機としては。
 答 不起訴になる可能性もある中で処分を下すことは難しい。また、職員自身の身分・服務に関する規定に自宅待機（職務免除）は無い。

【質疑】 国や県からの、交付金等はあるのか。
 答 町単独の事業。民間業者が建築するので、町の予算計上は家賃収入と借り上げ料のみとなる。

【質疑】 競争を実施することなく、特定の事業者を選定して契約する方法。「少額である」、「性質や目的が競争入札に適しない」等の理由がある場合に認められる。

議員から町へ（質疑・意見）

【質疑】 現在公表している入札結果に加え、随意契約（*）も公表し、誰でも見られるようにしてほしい。
 答 実施に向けて検討したい。

9月議会定例会のお知らせ

9月4日（月）	本会議 1日目 行政報告 議案審査ほか
9月5日（火） ～12日（火）	決算特別委員会 令和4年度 予算決算特別委員会
9月13日（水）	本会議 2日目 一般質問
9月14日（木）	本会議 3日目 一般質問 ※休会の場合あり
9月15日（金）	決算特別委員会の審査報告、付託議案審査ほか

※開会は10時からの予定です。終了時間は議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。
 ※議会では町民の生活に直結した重要な問題が審議されております。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。
 ※傍聴は本会議で受け付けています。

今月の表紙 田植え体験



6月1日に行われた峰浜小学校田植え体験では、5年生の皆さんが指導を受けながら素足で田植えに取り組みました。

町からの説明

町内には賃貸の住宅等が少なく、移住相談に対し紹介できる物件が無いのが現状。民間業者と連携し集合住宅の整備を行い、子育て世帯や移住者の定住化を促進する。

議員から町へ（質疑・意見）

【質疑】 国や県からの、交付金等はあるのか。
 答 町単独の事業。民間業者が建築するので、町の予算計上は家賃収入と借り上げ料のみとなる。



定住促進住宅事業スキーム



- 事業の流れ
- 1 民間事業者が町から土地を無償で借り受ける
 - 2 3 民間事業者が事業資金を調達し建設業者と請負契約を行い建物建築
 - 4 完成した建物を町が30年間一括借上げ
 - 5 町が入居者に転貸する
 - 6 事業完了にて民間事業者から町へ土地の返還と共に建物も無償譲渡

【報告4】 旧峰浜庁舎跡地に 集合住宅整備

町内には賃貸の住宅等が少なく、移住相談に対し紹介できる物件が無いのが現状。民間業者と連携し集合住宅の整備を行い、子育て世帯や移住者の定住化を促進する。

御所の台エリア 道の駅・山の駅・鉄道の駅・海の駅が交差する「交流ターミナル八峰」
 ～白神山地の豊かな恵みを活かした交流ターミナルの創出～

道の駅=ハタハタ館
 ◆道の駅機能をもった宿泊・健康増進・特産品等販売拠点
 ⇒ドライバー等の休憩・情報提供施設
 ⇒温泉を活かした健康増進拠点
 ⇒旅行客等の宿泊拠点
 ⇒特産品等の販売・PR拠点
 ⇒キャンプ場等利用者の食材購入の拠点
 ⇒地産地消の拠点

山の駅=あきた白神体験センター
 ◆緑地等中央管理センター
 ◆五雄線（リゾートしらかみ等）を利用する旅行客等の受入れ窓口
 ⇒特色をもったおもてなし

山の駅=あきた白神体験センター
 ◆海辺や山などの自然体験拠点
 ⇒世界自然遺産である白神山地の自然に関わる体験・学習の拠点
 ⇒特徴的な磯などの海辺の自然に関わる体験・学習の拠点
 ⇒ワーケーションの受入れ拠点

海の駅=八森漁港
 ◆海の幸・海のレジャー体験拠点
 ⇒八森沖でとれた新鮮な魚介類などの販売等が行われるはらもり観光市の開催
 ⇒海づりなどの海のレジャー体験拠点

各ゾーンの将来イメージ

ゾーン	将来イメージ
海辺体験ゾーン	・磯遊び、カヌー体験など海辺の自然を体験・学習できる場として活用
憩い・レクリエーションゾーン	・子ども達の遊びの場やイベント等、町民の憩い・レクリエーションの場とするともに、山の自然の中で、日常では体験できないアクティビティ等を体験できる場として活用
山の自然体験ゾーン	・植物観察、トレッキング等、白神山地の自然を体験できる場として活用
企業とのタイアップゾーン	・本エリアの魅力向上に関連する企業などとのタイアップの場を創出
アウトドア系	・バーベキュー、キャンプ、グランピング、ドッグラン等の多様なアウトドア施設等を開設できる場として想定
飲食・ショップ系	・レストラン等の飲食施設やスイーツ・パン等のショップをアウトドア系施設等と連携して開設
リゾート系	・斜面を活用したりゾーン系泊施設等を開設できる場として想定
生産等栽培系	・地元農家や製菓会社等が生産や農産物等の栽培場や見学施設等を開設できる場として想定
ネットワーク軸	・道の駅や企業とのタイアップゾーン等を結ぶネットワーク軸として道沿いの環境整備

【報告3】 背任事件の経過報告 と再発防止策

町からの説明

令和3・4年度に工事業務を委託する際、当時の職員2名が業者に見



積額の水増しを指示し見返りをもらっていた。他に非違行為がなかったか調査をしたが、当該事件の他に確認できなかったため、4月26日で調査を終結した。

再発防止に向けて「八峰町随意契約ガイドライン」の運用見直しを行った。

意見 もう少し小さくして重点をしばった計画にしては。周辺に大都市も無いので、深浦町にあった椿山やサタラッドも参考に、議会とも協議し、人の来る施設にしてもいい。

適切な予算執行に向けて

(予算審査付帯意見回答)

3月定例会で予算特別委員会から、町当局に提出した付帯意見についての回答です。
(※回答は令和5年5月15日現在のもの)

意見1 今後の予算編成について

令和5年度予算の繰入額差引き後の財政調整基金残高は、21億円と大きく減少している。今後の予算編成にあたっては、施策の緊急度を的確に把握・精査した編成に努めること。

回答

今後の予算編成につきましては、事務事業評価を行い、第二次八峰町総合振興計画後期基本計画や第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略をはじめとする町で策定している各種計画等に基づき、

優先順位を明らかにし、事務事業評価と連動した施策別枠配分による予算編成に努めてまいります。

意見2

認知症対策について

集団検診同様、認知症も早期発見・早期治療が重要であることから、家族がいち早く気づき、専門的治療につながるよう相談窓口の充実・強化に努めること。

回答

高齢化率が5割を超えた当町においては、町民の健康寿命の延伸を図るうえで、認知症

の早期発見・早期治療は重要な課題の一つであると認識しております。

町では、認知症に対する正しい知識を得ていただくため、令和2年度から「認知症力フエー」や、専門家のアドバイスをいただくながら、症状改善を図るメニューを実践する「認知症あんしん生活実践塾」などに、取り組んでまいりましたが、認知症

認知症に関する相談窓口

八峰町地域包括支援センター ☎0185-77-3200

八峰町役場 福祉保健課 ☎0185-76-4608

認知症カフェ

町が作成した認知症ガイドブック

設置した「認知症疾患医療センター」との関係強化に取り組んでまいります。

意見3

ファガス・峰栄館の統合について

ファガスと峰栄館は、老朽化により今後も多額の維持管理費が想定される。人口減も進んでいることから2施設を統合し、新たな施設整備の検討に入ること。

回答

ファガス及び峰栄館は、地域の振興、文化の向上、福祉の増進等に資する複合施設とし

て旧八森町、旧峰浜村時代に建設されました。ファガスは築27年、文化ホールは築28年で、峰栄館は築38年経過となっておりま

す。両施設とも、長年にわたり旧町村のシボルのな施設として、会議やイベント、サークル活動等のほか、

図書室としても多くの住民からご利用いただいている現状や、有事の際の避難所としても指定されていることから、住民サービス面を考慮し、当面は2館体制で運営してまいりたいと考えております。

なお、ご指摘のとおり、経年による老朽化が進み、維持管理に多額の費用が見込まれますし、人口減により利用者数の減少も予想されることから、公共施設等総合管理計画で定めたとおり、利用者数や老朽化・耐震化の状況、地区住民や関係団体と協議をしながら、改修や配置見直し

意見4

サーモン養殖事業について

サーモン養殖は、今後の町の漁業を展望する重要な施策である。進捗状況について議会への説明を行うこと。

回答

サーモン養殖事業につきましては、秋田県及び秋田県漁業協同組合、日本サーモンファーム、八峰町により令和4年12月に締結した四者協定に基づき、事業を推

進してまいります。令和5年度におきましては、八水株式会社が実施する海上養殖や、秋田県が実施する岩館漁港の防波堤延伸に伴う調査・測

量等が予定されており、進捗状況につきましては、実施団体と連携しながら、議会に対して丁寧の説明してまいります。



ファガス



峰栄館



岩館漁港で試験養殖が行われた